

企業と生物多様性セミナー

第16回 国際的な生物多様性保全の動き

日時

2016年

2月9日(火)

13時30分～16時

場所

千葉県立中央博物館 講堂
(裏面地図参照)

対象

県内に工場・事業所がある企業
70名 (参加無料)

主催

千葉県
一般社団法人 千葉県環境保全協議会
一般社団法人 千葉県経済協議会

申込・問合せ

事前申込制：千葉県生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記内容を記載の上、メール又はFAXでお申し込み下さい。

締切り：2月4日(木) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Tel 043(265)3601

Fax 043(265)3615

国際社会の生物多様性の保全や持続可能な利用に関する最新の動向、生物多様性条約締約国会議(COP)における議論などを通して、企業が生物多様性保全に取り組む意義などについて、(公財)日本自然保護協会・国際自然保護連合(IUCN)日本委員会事務局長の道家哲平氏に御講演いただきます。

セミナー内容

◆講演

企業と生物多様性を巡る世界の最新動向

(公財)日本自然保護協会自然保護部

エコシステムマネジメント室国際担当

国際自然保護連合(IUCN)日本委員会事務局長 道家 哲平氏

※詳細は裏面をご覧ください。

◆報告

「生物多様性ちば企業ネットワーク」参加企業の取組紹介

各企業の広報・CSR担当者

「外来種被害の防止に向けた行動指針」について

千葉県生物多様性センター 主事 栗田 隆気

第16回 企業と生物多様性セミナー申込書

会社名		業種	
連絡先	Tel	E-mail	
参加者の所属 職氏名			

道家哲平（どうけ てっぺい）氏

(公財)日本自然保護協会 自然保護部エコシステムマネジメント室国際担当・
国際自然保護連合日本委員会 事務局長



生物多様性条約のNGOにおける第一人者。国際的な情報収集・分析を行い、日本の生物多様性保全の底上げに取り組んでいる。2010年愛知県で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）では、NGOグループの全体運営を行い、COP12でも「UNDB の日」のプログラムディレクターを務めた。国内では、2020年までに日本から愛知ターゲットの達成を目指し、企業や団体、自治体など多分野のセクターのネットワーク化を行いながら、地域や企業の生物多様性戦略、「にじゅうまるプロジェクト」、UNDB-Jなどの生物多様性保全事業を推進している。

講演趣旨

生物多様性の保全や持続可能な利用の推進と、企業とのかかわりについては、その正負の影響の大きさから、国際社会では2004-2006年の間に萌芽とされる動きが生まれてきた。日本においても「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」やその成果である愛知ターゲット、国連が定めた「国連生物多様性の10年2011-2020」の影響もあり、いち早くその国際動向に対応するネットワークが生まれ、近年その成果が徐々に社会に出始めている。グリーン経済、自然資本会計、環境管理システム国際基準（ISO14001）改定、環境配慮投融資といったキーワードに象徴される、**生物多様性を企業活動のなかで扱うべき重要課題に設定することを促す国内外の制度、ツール、支援策の動きが進行している**。これらは近年急速に具体化しつつある段階のため、広く知られていない情報、断片的にしか入っていない情報など様々なレベルとなっていて分かり難い。

今回の講演では、政治レベルの動きから、コミットメントの奨励、コミットメントの実施支援、実施企業に対するインセンティブの確立といった段階ごとに、国際的な動きを整理して報告を行い、企業が生物多様性に取り組むアプローチ・意義等を紹介する。

■ 会場案内図 ■

千葉県立中央博物館 講堂

千葉市中央区青葉町955-2
TEL 043(265)3601

■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール 又は FAXでお申し込み下さい。

締切り：2月4日(木) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



バス(千葉駅東口) 乗り場7「大学病院」「大学病院・南矢作」乗り場6「川戸都苑」 中央博物館下車徒歩7分
(蘇我駅東口) 乗り場2「大学病院」中央博物館下車徒歩7分
車利用の方は、青葉の森公園北口駐車場(4時間300円)をご利用ください。